

東京日々新聞

七百五十二號



臺灣の諸蕃悉く
吾々軍門
小降せし
中ノ獨り牡丹社の
の土人けと遠く山林
深莽の裡に逃入る出
ざりしと全軍大擧して二方より
進撃其山々と焼立々を被と身を潛り地を
して前ノ帰順の酋長等と謀約し紀元二千五百
三十四年七月第一日本營小末つゝ罪を謝し
真小降伏しつゝ藩地は多し
静謐あり。這征臺の此島の開化あり
進むる初階といふる

轉々告終之録



一萬齋
芳義画

甲 貝足屋 渡辺彫榮

